常磐毎日新聞

十二月一日　夕刊

定價　一ヶ月金五拾錢　郵送料共
廣告料金　一行五拾錢　場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人　坂本忠治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（磐城日報）東京　四〇二〇番

愈よ師走

大詰めの一振

物凄い商業戰

農山漁村は冬籠り

愈よ今日は十二月一日、多事多端であつた一九三六年も餘す處正に三旬に押しつまり、カレンダーは一枚々とめくられて泣いても笑つても一ケ年の總決算、大詰となつた、サラリーマンはタンマリ頂戴したボーナスを懐中に、また農山漁村民は今秋穫したものをそれ〳〵金に替へ、冬籠りの準備に餘念がないのに對し、獨り商人は最後の書入時とあつて、歳末賣出しにこゝを先途と物凄い商業戰を展開、一氣に不景氣を挽回せんと目論見る大事な瀬戸際で忙しさは日毎に倍加される

泣くも笑ふもあと三旬

乳幼児の狀況を詳細に調査して

健康の保護を圖る

衛生區長が取纒む

平町では目下町内各衛生區長と連絡、昭和十年一月乃至十二月の出生乳幼児の榮養攝取狀況を調査取纒め中であるが、これは縣が今回一般縣民に對する榮養指導上の參考に資するため縣下各市町村當局、方面委員、區長、衛生區長と協力、死亡率の最高位にある乳幼児に就き左記の調査を行つて乳幼児健康保護の實質的向上を圖らんとする重要な案件で平町役場でもこれが愼重な調査を期して本月二十日頃までに詳細を取纒め縣に報告することになつた

△乳児名△乳児性別△分娩月數△分娩の狀況（安産、難産、手術産、双生児）△出生順位△家計の主なる職業（生活程度ABC）△乳児榮養方法

調査事項を携へて

平窪側の委員

けふ來町

來月中には合併の決議

平窪村では既報の如く平、平窪合併問題に關し二十九日村會で調査委員六名を擧げた結果、昨日午後一時から委員會を開き調査事項として

一平、平窪合併後平町の執るべき農村施設（教育、衛生、火防等）

一、平町の賦課負擔等の大綱を決議、一日午後一時から調査を開始した兩日中に調査を終つた上合併を促進して十二月中には合併を決議する筈である

競技檢査

磐女合格者成績が良好

既報、過般全日本体操聯盟制定の競技檢査を行つた磐女の合格者は一般二十一名、二級七十一名、三級百八十名の好成績で近く本部から夫々合格證を授與されるが各學年に於ける一級合格者は左の如くである

△一年阿部眞子△二年馬目喜久與　村田良子　長瀬喜美　關豊子　北郷春江△三年岡田幸子　中村茂　五十石剛子　今田操　菅野文子　木村トシ　落葉ヒサ子　正木千鶴子　藤沼里子　北村翠子△四年村井炭子　北佐道子　丸山八重子　齋藤和子　荒玉枝

毎夜城山附近に年少の痴漢現る

第二校では女生徒に

▽……夜間の外出嚴禁

第二校首席歯校　既報去月四日から福島男師校に開かれた國民精神文化講習會受講の爲め出張中であつた平第二校の首席訓導渡邊三平氏は昨夜約一ケ月振りで歸校

平町城山附近の暗がりに毎夜の如く年少の痴漢が出没、通行人の婦女に戯れかゝるため同方面居住の妙齢の婦女子は戰々きようく〳〵してゐるが襲はれた某女は語る

さうですね、年の頃は二十才からまりの詰襟服を着た若い學生風の男で斯んなお婆さんまで襲ひかゝるのですから若い女の子は恐いことでせう、突然後方から來て默つて着物の裾を捲くつたので、何をするんだ！此の野郎と云つたら吃驚して逃げて行きましたよ。云々

尙同第二小學校では全生徒に對して夜間の外出は絶對禁示する旨校長から訓示した

防火デーの本一日――平、消防組では既報の如く午前五時半頃警鐘を合圖に全員消防詰所前に集合、同七時半服裝點檢の後同町銀座熊子鍬倉神社前で無火災祈願をなし平商校庭で規律訓練を行つた尙平署並に町内各青年分團火防組と協力町内各町に横斷幕、立看板を掲示した外四班に別かれて町内の寵、風呂場檢査を施行したが更に自動車ポンプを使用する宣傳隊は夏井　飯野　神谷　内郷　平窪　小川　好間　澤渡　三阪　各村を歴訪、管内民一致の火防趣旨徹底を期し大いに効果を擧げた

各校の火防

磐中　平商、磐女の各中等學校は今一日の防火宣傳デーに際し各校長の講演後夫々全校生の避難演習を行つたが第一、第二、第三の各小學校も校長が講演を行た外ビラを配布した

無火災祈願

けふの消防組

自動車喇筒の宣傳隊

植田町の講堂開き

既報植田町の公開堂を兼ねた植田小學校堂落成式は六日午前十時より擧行される筈當日の順席左記の如くである

擧行式の辭、團歌合唱、勅語奉讀、式辭、工事報告、感謝狀贈呈、來賓祝辭、學校長答辭、閉式の辭

天氣豫報

今晩は南の風曇後雨、明日は北西の風曇小雨後晴

佐藤代議士

神谷村長に

神谷村會は昨三十日午前九時から開き、臨時町村補給金交附に基く十一年度追加更生豫算可決後、既報の如く村長選擧を行ひ滿場一致で前代議士佐藤庄太郎氏當選した

好間川水源地

――保存會を結成――

悪疫を徹底的に撲滅

平署では既報の如く管内炭礦地帶のチブス續發に鑑み昨三十日午後一時から關係町村長並に各種團體主腦部を同署會議室に招きこれが豫防對策研究協議會を開き撲滅方法に就いて打合せを行つた結果、今後は好間川流域各町村より成る『好間川水源池保存會』を結成、衛生的對策を講ずる一方縣衛生課中會根技師は皆川平細菌檢査所長と協力、今一日は好間村、明二日は箕輪村の健康診斷を行ひ徹底的防疫の後三日歸縣する

布教師が二十圓騙取

田村郡二瀬村御獄教布教師吉成勇(四八)は昨年六月中内郷方面に布教に來郡した際同村小島の同教布教師渡邊龜喜方に立寄り上位の地位を世話すると言葉巧みに現金二十圓を受取つたまゝ詐取したこと發覺、三十日平署で逮捕した

生活苦の寡婦を

騙して身の代金横領

神谷村下神谷農箱崎タケ(四四)は本一日平署に内郷村御厩居住赤井村驛前日本繊維會社職工本田正義(二八)を私文書偽行使詐欺で告訴したが理由は吉田は去る昭和八年七月中夫に死別したタケが生活に困るところから二男の義男(當時十一才)の奉公口を探してゐるのを聽き込み義男を連れ出して栃木縣河内郡古里村農杉本古一郎方へ徴兵檢査までの契約で百五十圓前借しタケには同縣宇都宮市内の自轉車店に世話したと僞か二十圓を渡して僞つてゐたことが

最近になつて義男から普信のないのに心配したタケが宇都宮に行つて同地警察の手で調べた結果、前記の事情が判明したもの

實子に盜ませ夫婦で賣歩く

平町六丁目一〇一無職司馬捨重郎(五三)は昨年十一月頃から今年四月迄の間に長男五郎(二)假名を教唆して附近の空巣を荒し廻らせた外三丁目雜貨商横山彰介商店倉庫から前後三回に亘り地下足袋其他約九十圓を盜ませ女房のタツと共にこれを賣つて暮して居た事が判りけふ平檢事局で石合檢事から窃盜罪として起訴さる

雇人の逆恨みで

山田文一氏追求

▽……暗雲近く一掃か

平町の富豪の一人である十五丁目銅鐵商山田文一氏が平署の取調べを受けて居る、事件の内容は明かでないが先に同店地所部の店員元縣土木書記金澤四郎(三七)が不正を働いて大金を費消し平署に檢擧され文書僞造、詐欺横領等の容疑で留置取調べを受けるに及び主家に對する逆恨みから種々出まかせを供述したものゝ如く贈賄等の嫌疑が山田氏の身邊に濃厚となり追求を受けてゐるらしい

山田氏は强氣一點張で巨富を積んだ立身傳中の人だけに世の誤解や反感等も可成り根强く蟠つて居る傾きもあるが性格は至つて單純明朗で法を犯して迄も金儲けをする等と云ふ樣な大それた人間ではないから何れ身邊の暗雲が一掃される日があると熟慮者は語て居る

水害地に寄附

平町才槌小路二石城中小商工互編會吉田定正氏は過般の秋田縣尾去澤水害地への義捐金十圓を平町役場宛寄附した

空巣に懲役

既報小田原刑務所を出ると間もなく二十數茂の窃盜を働き檢擧された空巣專門の小名濱町生れ前科一犯金成繁(三二)の公判は今一日午前九時から平區で野雪が深いので山を休み、明けて三十三年春、八十八夜が來ると一せいに山へ登る命が下る。然るに精煉所の小頭をしてゐる金田某の妻は一緒に山へ登る事をこばんだ。昨年の山の秘密をもれ知つてゐたので引き續く山の變動に今年登れば必ず殺されると信じ、遂いに夫にそむいて若松の親元へ逃げ歸つたと云ふ。夫はわざ〳〵若松へ行き、無理にともなつて山へ登つた七月の或る日午後二時頃三十一年の噴火口附近よりボツリ〳〵噴き出し始め、役員の澤某は一昨年も三十分位でおだやかになつたのだからすぐ止むに違ひないと足止めをした。然るに今度のは止まなかつた。益々噴火は激しくなり、逃げ出しの命が下つた時は既におそかつた。天に冲する熱灰、火山彈の落下は激しく、瓦斯に卷きこまれ、中の澤まで辿り着いたものは數名に過ぎず、七十餘名は遂ひに硫黄精煉の犠牲となつてしまつた。鐵山へ、安達太郎山の頂へと、噴火口を廻る。自然の技の冴えをみせた

竹棒で毆り付け

瀕死の重傷を負す

畑を通行したと憤慨

田人村大字黒田字戸内農絲川稲彌(三二)は去る二十八日午後四時頃自宅附近の畑で通行中の同町絲川春記(四七)を竹棒で毆打前額部に深き骨膜に達する重傷を負はせ三十日植田署で檢擧、原因は加害者所有の畑を通行したのを憤慨したゝめとの事であるが裡面には相當複雜した理由が潜んでゐると見られてゐる、被害者は生命危篤

漁夫「激浪にさらはる」

沖合で漁業中に

小名濱町古港三代義勝氏所有船辰丸乘組員漁夫宮岡續(四五)は二十八日午前十時頃同船が四倉沖合で漁撈中激浪にさらはれ行方不明になつたので目下捜査中

平町人事

回出生

△大町一五内木宗八氏長男詢一さん

△北目町一三當時東京市足立區本木町一丁目七五九鈴木眞琴氏三女實さん

植田町會

植田町會は三日午前十時から開きピアノ寄附採納の件並に講堂建築費の追加豫算の件を附議する

木刺事係り石合檢事立會の下に開廷檢事から懲役二年六ヶ月を求刑判事か

ら即決求刑通り言渡さる

明日の部

▼後八、一〇落語「火事嬢ひ」三遊亭金馬　▼後八、二五新内「明島夢泡雛下」富士元津賀太夫　▼後八、五〇尺八「青海波」大橋鶴山他　▲後九、〇五東海林太郎澤雅子　▼後九、三〇時報　ニュース　明日の話題　氣象通報　番組豫告

今晩の部

▼後六、〇〇童話劇「子豚の腹つゞみ」新童話劇場　▼後六、二五青年の時間「青年の教養とスポーツ」山本忠興　後七、三〇講演「全日本防火デーに際して」潮内相　▼後八、〇〇講演「ツチ博士を迎へて」田中耕太郎「ムツリーニよりのメッセージを携へて」ジュセッペッチー　▼後八、〇〇浪花節「御用半次」相模太郎　▼後八、三〇合唱第十一回競演合唱祭優勝團體　▼後九、〇〇連續物語「ひとりしづか」夏川靜江、渡邊はま子　▼後九、三〇講演「金日本防火デーに際して」潮内相　▼後一〇、三〇婦人講座「茶の湯のお稽古」千宗守　▼後一〇、〇五輕音樂　▼後一〇、三〇國民歌謡　▼後一〇、三〇國民歌謡　嘉納愛子(桃谷中繼)　▼後一〇、〇〇婦人の時間「嫁の心姑の心」森田たま　▼後二、四〇小學生高等科の時間　國史劇「伊藤博文」東京國史劇子供會　▼後三、一〇教師の時間　現代語教育講座「高等科の國語教育」坂本豊　▼後五、三五講演「犯罪豫防に就て」山内繼喜　▼後六、〇〇コドモ日本史「東洋の日本、世界の日本」東京コドモグループ　▼後六、二五農村施設講座「農村託兒事業」庄司仙藏　▼後七、三〇講演「ツチ博士を迎へて」田中耕太郎「ムツリーニよりのメッセージを携へて」ジュセッペッチー　▼後八、〇〇浪花節「御用半次」相模太郎　▼後八、三〇合唱第十一回競演合唱祭優勝團體　▼後九、〇〇連續物語「ひとりしづか」夏川靜江、渡邊はま子

明日の部

▼前一〇、三〇婦人講座「茶の湯のお稽古」千宗守　▼後〇、〇五輕音樂　▼後〇、三〇國民歌謡　嘉納愛子(桃谷中繼)　▼後二、〇〇婦人の時間「嫁の心姑の心」森田たま　▼後二、四〇小學生高等科の時間　國史劇「伊藤博文」東京國史劇子供會　▼後三、一〇教師の時間　現代語教育講座「高等科の國語教育」坂本豊　▼後五、三五講演「犯罪豫防に就て」山内繼喜　▼後六、〇〇コドモ日本史「東洋の日本、世界の日本」東京コドモグループ　▼後六、二五農村施設講座「農村託兒事業」庄司仙藏　▼後七、三〇講演「ツチ博士を迎へて」田中耕太郎「ムツリーニよりのメッセージを携へて」ジュセッペッチー　▼後八、〇〇浪花節「御用半次」相模太郎　▼後八、三〇合唱第十一回競演合唱祭優勝團體　▼後九、〇〇連續物語「ひとりしづか」夏川靜江、渡邊はま子

テルミー　美容法講習會
盛況御禮
昭和十一年十二月
東京・銀座
テルミー美容科學研究所
特約店
平町二丁目
（正）中野洋品店
電話五三番
・テルミー美容法の御不審の點はいつでもお質ね下さい
・テルミー美容化粧料はいつでも取揃へて御座います

白柄劍風連
井川洗涯畫
大島多慶夫作
村瀬春映書
姉の情……二四……
主水のいふ通り、おすみは婚姻を家を繁んでゐるときにちやうど、從くれの愛理でも交換するやうな具合から縁にやられた世間ずれのあつた。だから、縁などといふ浮ついたことは樂にも來はつたことはない。しかし、物の本のうへで、戀の慕ひよりも辛く厳しいものであるといふことは離げながら承知してゐるのであつた。
「主水様。あたしは縁は存ぜぬが……ただその切ないものといふことは能く承知をして居ります。そなた、定めし切ないことであらう」
「いつそ。この胸を矢の根で突いて〳〵突きまくつて、この苦しい慕みをとり去りたいくらゐでござる」
「そして主水様。そなたはその方の相手といふのは誰でござりますか」
「姉上に申上げたからと云つてその當人の心が変はへつてくるものではない。このまゝ縁のうちに納めて置かう」
と、縁のうへに御向けになつた。
縁の島の縁が縁の一本杉の間きへ下りて、いかにも陽氣に明つてゐる。主水は小島の縁氣に澄澄が寒ましいやうに感じたのであつた。
「でも……？」
かうおすみは主水の顔を見反つて、稲口をつぐんでゐたが、「女はまた女同士といふこともあるから、そなたの苦しみをあたしからこれ〳〵と話して聞かせて見たらば、どう鬼方から縁つてくるものでもござりませぬ。姉の心のやさしさはそういふところにあるものでございます」
と、力をこめて云つた。
「いや〳〵。無駄骨を折るばかりと存じるから……？」
「主水様。その又あひてにもよるでござりませぬか」
「姉上」
主水に何ごとか云はうとして躊躇つた。
「さ。縁を切ると云つてくだされ。あたしから縁命に云ふてお見ます」
「お縁ひ下さるなら」
「両の……そなたの命にも係はる問題の縁ではござりませぬ」
「いつそ。この胸を矢の根で突いて〳〵突きまくつて、この苦しい慕みをとり去りたいくらゐでござる」
「お京どのでござる」
「えつ。あの、お縁の召使ひのお京縁」
「左様でござります」
「あの人は……あたし縁しくはないけれど縁氣とやらの縁でござりませぬか」
「姉上。あなたから、お京どのをお說き下さりますか」
「え。そなたのために命を折りませう」
と、おすみの顔には、決心の色が現れたのであつた。
弟の身の上をおもふ縁しい姉の情から、おすみにその日、父縁の重長縁に會つて、良人から縁まれた用は果したが、お縁に逢ふために、實家へ寄ることに心をきめた。
お京を說く縁ぎ？
それは其の夜つひに來なかつた。

竈に煙突 ダテには付けぬ

あなたの煙突は

石炭を無駄に食ひませんか？

煙突の二大使命を知らなかったら 大へん損しますよ！

女子專門學校教授 沼畑金四郎氏

ストーブや風呂釜に煙突をつけるということだけは知ってるでも、それが何のためで、どういふ風に注意しなければならないかと云ふことまで考へていらっしゃる方は案外すくないやうです、その不完全燃焼から來る燃料費の大きな損失——と云ふことにはお氣がつきにならない、そこに煙突の重大な使命があります

ガス排出と酸素を

即ち燃料の結果出來る不必要なガスを排出すると同時に、新鮮な空氣、つまり酸素を充分に供給する役目をするのがこの煙突です。（たとへば燃料に云へば炭素一グラムをもやす役には三十二グラムの酸素をぜひ必要とします）

煙突に高さが必要

そこで、以上の二つが完全に行はれるための條件としては、まづ煙突に一定の高さがなくてはならないといふことが一つ

他水知の通り燃焼ガスは熱せられて非常に軽くなってるもので、從って強い浮力を持って上昇排出するのですから、その場合煙突に相當の高さがあれば浮力も大きく煙突上昇道があたへられるわけです。それですんずんガスが上昇し排出すれば、從って下の煙から入る新しい空氣の量も多くなりますし、また上部では外の空氣と煙突からでたガスとがバランスをとるためにはやくまじらうとする力、即通の言葉で云へば吸出す力もそれだけ大きくなって來ます

適當な高さとは？

では煙突は高ければ高い程よろしいか——と云ふと、さうもゆきません、あまり通風がよすぎれば完全燃焼せずはしても、必要なだけまで無駄に逃がすことになってしまひますから、まづ普通の家庭のストーブ風呂釜等には二間乃至三間といふところが適當です。風呂釜がもっと大きくなるにつれ、ストーブがもっと大きくなるにつれて、三間三間半といふやうにのばしてゆきます

若し横にするなら

なほもう一つ、先に述べた浮力をよく利用するためには、煙突が眞つ直ぐであることが理想で、もし必要上横に逃すとしても、その横行きは出來るだけみぢかいことが理想しいのです

しかしストーブの据ゑる位置やまた波型面を増させるために横にはせる時は、これに應じて縦の長さをのばすとか、ふとさを太くするとかして風通しを助けねばなりません（煙行きに横して高さはその一倍半増し、曲

御存じ？

◎アルミニュームの洗ひ方

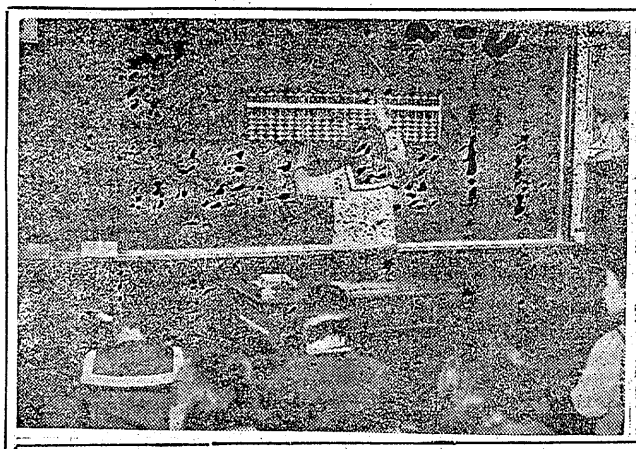
アルミは、酸がいちばんきらいですから、かたい果物や酸性など煮てはいけません。へうきに米糠をつけてあらふのが一番です。油の物でも煮た場合は、粉石鹸を少々糠にまぜてお使ひください

女學校時代から

就職の秘訣

ペン字珠算など練習せよ

卒業だけでは不確實



東京市婦人職業紹介所では來春卒業する女學校生徒の職業希望者が全部で約三千四百人以上に上るだらうと豫算されてゐる、從つてこれ程多數を全部に就職へるために今から各學校へ職業を通して就職希望の有無職業の調査を申し込むことになつてゐる

市内にないので、その中の六、七割位までは當然就職職業から落ちることになるわけである、しかしばどうすれば確實に就職することが出來るかといふことについて東京市小石川區小石川町一丁目婦人職業紹介所の古川主事にきいて見た處次のやうにお話下さいました、最近は女學校を卒業して、二年經過した者を採用する求人が非常にすくなくなって來たので、どうしても卒業と同時に就職するやうに努力する必要がある、どうすれば就職が出來るかといふことは誰からもよく受ける質問だが、これはなかなかむづかしいことで、まづ女學校卒業生の九八パーセントまでは第一希望職業、第二百貨店員となってゐるのでそれを目標に申し上げると、百貨店員の方は知識方面以外に、言葉遣ひ、愛嬌等の心得のある者が極と云つても採用される者が非常に多く、この點等を是非望つておくやうにお勧めしたいものです

無教育する種の求人能力が現在の市場にないので、その中の六、七割位までは當然就職職業から落ちることになるわけである、しかしばどうすれば確實に就職することが出來るかといふことについて東京市小石川區小石川町一丁目婦人職業紹介所の古川主事にきいて見た處次のやうにお話下さいました、最近は女學校を卒業して、二年經過した者を採用する求人が非常にすくなくなって來たので、どうしても卒業と同時に就職するやうに努力する必要がある、どうすれば就職が出來るかといふことは誰からもよく受ける質問だが、これはなかなかむづかしいことで、まづ女學校卒業生の九八パーセントまでは第一希望職業、第二百貨店員となってゐるのでそれを目標に申し上げると、百貨店員の方は知識方面以外に、言葉遣ひ、愛嬌等の心得のある者が極と云つても採用される者が非常に多く、この點等を是非望つておくやうにお勧めしたいものです

お米は前晩に磨がぬ方が良い

舌觸りの軟かい飯は炊けるが バクテリアが危險

シタ觸りよい飯

飯炊といで笊に上げておいた米には約三パーセントの水分がふくまれて居るので、火にかけた時、澱粉質の表面だけでなしに、米粒の中も平等に熱が渡り、澱粉が完全に行くのでたく飯にといだ米よりもフックリした舌ざはりのよい御飯が出來ることになりますが、しかしその反面には又缺點があります。しかもそれは右の特點と表引きしてもなほ目つあまりのあるものなのです

腐敗しやすい缺點

それは、米が水を吸って笊の中におかれてゐる時間内は不潔物が入りやすいのは勿論ですが、もっと危險な事は腐敗、その他のバクテリアが特別に繁殖しその中には二、三百度の加熱では決して死なゝボックェスなどがあり、よしやそれらのバクテリアが一時は死んでも、胞子は殘つてゐるので折角たきあげた御飯も、早く腐敗することになります、これのはげしくあらはれる例は、そろ〳〵暑くなって來た時、三月、四月と云ふ暖にもなれば、朝たく飯に米の中心のものは暖にむれくさってゐるのでもお判りのことと思ひます

朝腐ぎの炊き方

それで、結局朝ときといふ事になりますが、ところでこの方法で前夜といだ米の腐にフックリさせるには、出來るならばたく一時間位前にとぐ事及必ず水からたきあげる事が肝心です。また、たきあげのコツは、火を止めた後の蒸らしにあるのですから、水源を過がさない程に、且つ堅力を加へるためにこの蓋の下に布をしき、蓋の上には重しをのせる事が必要です

ヘットやラードの臭ひを除るコツ

ヘットやラードの新鮮なものは紙に入れて火にかけますと、臭をそうるやうな、香ばしいいい香りがしますが、熱したものは、紙のこげるやうな、不快な臭を發します。もしさうなったら、じゃがいもの薄切を一番りほど入れて、次紙に油で熱して、いもが褐色になるまで揚げます。するとじゃがいもが悪い臭を吸收して、油を清めてくれます。そのじゃがいもは食られませんが、次から揚げたものは、臭味もなくおいしくあります

染物屋へ出す心得

漠然と……は禁物

◇六ヶ條

第一

染めに出す前にはあらかじめ用途をさだめることです、染めておけば師かの役に立つこと、背から染めは水物ないつて、取扱ったやうには出來ないものです、殊に染かへし物は調子があるので、折角、上調子に染つてゐるものを、あとで他のものとかひを直すために、無駄として捨て色が濁つたり、地色をいためたり、生地そのものの味をいなつたりすることがあります、一度染め上つたものは、あとでなまり直しなどしないことが鐵則です（山

第二

品物をよくしらべてから染めること、目的にかなふかどうか、地質の丈夫さ、色の抜け工合、キズの有無など、よく染めそのまま不合格です

第三

時日を充分餘裕をとつてたのむこと、急がせればそれだけ手を抜かれたり、仕上がぞんざいになることがありますから……

第四

他用ある染物に注文する際、意味や立派な言葉へ、みつけの唐とか、實際染めたんの結果等によって選ぶべきです

第五

大體のこのみ、ハッキリいつて注文すること、染物は客のこのみに應じて染めるのですから、このみがハッキリしてゐないと非常にこまるものです、それで染上つたものがやはりすると、自折甲斐のないものになったり、また客の方でも思ひ切った注文がいへず、願力とも誠をすスのです

第六

注文の場合、あまり細かい點までやかましくいへば、くしらべて下さい仕立てあるものをとかずに、そのまま出す人がありますが、これは注意深い人のすることではありません

人相て相性を知る法

ハナの高い婦人

桑の高い婦人は、眼識が鋭すぎて、人々を見下す癖があります。此癖をあらためなければ、結婚生活はできません。

不完全燃焼の發見

最後に、完全燃焼せしてゐるかどうかの見分け、煙突には煙とつから出るガスを分析して見ますが、普通は黑煙が盛々と出てゐたり、ス、が澤山つくといふのは、もえるべきものがもえずに煙突の餌食子のまゝ出た證拠です

護れ大平洋の波

寺島征史（作）
村瀬春映（畫）

……地二四……

漂流（七）

嵐の海へ漕ぎつけた傷馬船は、途中豆潮に巻まれて、無惨にも顚覆した。

けれど、敵船の水夫は、必死となって嵐の海に漕ぎつゝ、辛ふして一命を拾ふことができた。

やがて、本船と、嵐の海との間に一隊の生命の綱が張られた。

「全員上陸」

ルードは叫んだ。そして、お瀧をかへりみた。

「わたしと、いっしょに上陸だ」

お瀧は、叫ってゐるので眼々をこねた。

「あたしア、ロッキイ丸と生死を俱にしますわ」

「いけない、ロッキイ丸は、嵐の海に乗上げたのだ。愚図々々してはゐられない」

ルードは、無理にお瀧を生命の綱に取すがらせた。

かうして、全員が、やうやく嵐の海に逃ひ上ることが出來たとき、一大竜巻とともに、傷馬船ロッキイ丸は、船腹の裂の嵐の海に乗れて船體を二つに裂けてしまつた。

たとひ、ボロ船になるとも、すでに沈没の運命は免れなかつたであらう。

もう夜明けだつた。

東の空に曙がのぼってゐた。一同は地獄の面持で、本船の最期をみとどけてから、はじめて、自分たちの立つてゐる嵐の海を見渡した。

それは、絶壁のように聳立してゐるとも、足もとを、豆潮が驚撃するやうに洗つてゆく。突然とどこかゐると、五體ともに持つて行かれさうな、安心のならぬ場地だ。

「嵐だ」

ルードは、叫んだ。

「かゝる危險な嵐は、一瞬の安住もゆるさぬ。萬難を除してこれより傷馬船に乗り、海岸迄漕ぎ出さうではないか、人力を盡して天命を待つ、之が船乗の生涯だ」

ルードの叫びに、誰も答へるものもない。

しかし、かれらは、船の一部に嵐を下り、潮ふてゐる傷を拾ひ、水を搔出して、全員これに乗り移つた。

すべての動作が、無智のまゝに行はれた。

この努力に、人間の意識も、手助心をも誘ひさせてゐたが、傷馬船にぎっしり詰められてみると、やはり、生きたいといふ欲望だけが先走つた。

ルードは云つた。

「さうさ、海へ投じた食料品や嵐の品を拾まなければならぬ。この先幾日、幾十日、海岸を漂ふかわからぬから、食料品は出來るだけ積込まねばならない」

すると、誰かが

「しかし、それ以上荷物などは拾めまい」

と、いつた。

暫く、その通り、二十餘名を載んだ傷馬船は、それだけでも海に巻まれさうだ。

「では、四五人船牲になって貰はう」

ルードは、傷船に叫んだ。

「どうするのだ」

それは、傷船の聲だつた。

「四五人、嵐の海に下りて貰はうぢやないか。小船頭で船つた人たち傷馬船を下りてくれたまへ」

エレンはじめ、敵船の小船原人は、恐怖に顫へた。船べりに縋りつくやうにして、傷馬船を離れまいとしてゐる。

「そんなことはできない」

傷船頭だつた。

「では、どうする？」

「食料品を積まなくともいゝ、小船原人も同行する權利がある」

「船頭する」

「死なば諸共だ」

すると、お瀧は顚をあげて、傷船を眺めやうにして叫んだ。

「さうよ、死なば諸共！　それで恨みりや、あたしを置き去りして行つて頂戴！」

これには、さすがのルードも負けてしまつた。仕方なしに食料品を積てゆくことにした。

第十五回全國清酒品評會 優等賞受領

銘酒 澤川

特約店 永山酒店 平町田町・電話二〇七番

元造醸 市松若津會 郎四藥森宮

毎度有難ふ御座います

是非 バターの本場、バターの王様 北海道修道院

トラピストのバターを

御試用下さい……

平町驛前通り 市川パン店

◇謝恩デー 毎月一日、十五日

高久病院

院長 醫學士 高久忠

副院長 新潟醫學士 赤羽清

藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

平町田町・電話五一三番

内科小兒科 耳鼻咽喉科 外科花柳病科 レントゲン科

◎看護婦さん募集◎

外科 内科 耳鼻咽喉科 X光線科

産婦人科 醫學士 黑澤廣

—新設—

▽入院隨意△

平町田町 安齊醫院 電四七五

優秀なる專門技術 完備せる試驗設備

モートル變壓器 修理工場新設

合資會社 佐藤鐵工所

平町月見町（電話三六二番）

美味……体裁優美は當店のモットーです

鰹節・鹽辛 鮮魚仕出し

非仙魚店へ

是非

干やなぎ いか切込 の御注文は

（おでん呑兵衛）

平町田町米廣通錦水跡

電六六二番 丸仙

日本の家庭必備藥

切傷、火傷、胎毒、丹毒、痛齒、濕疹、水虫、靴ズレ、たゞれ

疾、凍傷、吹出物、痔、アレ乳、ニキビ

ルメフト

平町田町 阿部藥舗

當擔醫門專科各

磐城共濟病院

院長 醫學博士 長谷部喜久 平・電話六四一番

嚴寒來る！

メリヤスは……

專門の……

平町二丁目 山家メリヤス店 電605

平町南町五二

根本産婦人科醫院

（手術室完備 入院隨時）

根本莊次郎 根本貞雄

電話三十四番

磐城セメント會社特約店

釜屋商店

磐城平町五丁目 電話九・九九

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は久の生命なり

會員募集

年齢、學歷を問はず堅實なる婦人を望む 委細面談

平町紺屋町 上原家政婦會 電話二二一番

旅館 合大津館

私は平町出生ですから特に鄕里の皆様方の爲に御便利を圖ります

主人 比佐棟雄

東京上野驛前（下谷郵便局横通角） 電話下谷六七七番

耳鼻咽喉科專門

大和田醫院

平町南町一六（電話一七〇番）

花柳病科 外科

木村外科醫院

平町六丁目橋際 電話三〇九番